



新年のご挨拶

社会福祉法人日本身体障害者団体連合会
あべ かずひこ
会長 阿部 一彦

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまには、平素から日身連の活動に特段のご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、日身連は、昭和33年に全国組織の任意団体として創設されてから、本年で60年を迎えます。戦後の厳しい時代から昭和の高度経済成長へと移るなかで活動を開始し、昭和59年には社会福祉法人となり、加盟団体はじめ、障害関係団体等関係者の皆さまと連携、協力し、障害のある人の自立と社会参加の促進をめざして活動を続けてきました。

特に、「完全参加と平等」を掲げた国際障害者年を契機に障害に対する社会の考え方が変化し、障害のある人の尊厳の尊重と障害理解に対する関心と期待感が、その結果として、障害者権利条約締結のための集中的な改革と、さらには障害関連法制度の整備の実現となったと感じています。

日身連は、そういった潮流のなかで障害者福祉の向上と共生社会の実現に向けて活動してまいりましたが、さらに大きな変革の機会と期待されるのが、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」ではないかと思っています。行動計画では、障害の有無によらず、すべての人が人権や尊厳を大切に、分け隔てなく共に支え合う共生社会の実現のための施策の実効性を担保するとしています。この行動計画を受けて、日身連は、加盟団体の皆さまと連携して、中央省庁での議論にとどまることなく、地方行政にも反映されるように取り組んでいきたいと考える次第です。

”Nothing about us, without us (私たち抜きに私たちのことを決めないで)”という障害者権利条約の精神をもって、共生社会の実現のために、ともに頑張ってまいりましょう。私も、日身連の代表として、国や政党はじめ、関係方面の皆さまへの働きかけに鋭意努力して参る所存です。

結びに、東日本大震災並びに熊本地震等、今も避難生活を続けておられる方々の一日も早い復興とともに、すべての皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

理事会では3つの議案について審議されました。まず、議案1「委員会の設置について」。平成29年5月30日の定

12月21日、東京都障害者福祉会館(東京都港区)において、第2回定例理事会が開催されました。

第2回定例理事会を開催 要望事項取りまとめ検討

時評議員会で評議員から提案された3つの議案(※1)について、早急に協議検討するために、新会長のもと、すでに2つの委員会(※2)が設置されていますが、定款に基づき、委員会設置については理事会の承認が必要(第35条2項)なことから、これまでの両

委員会での開催状況や委員会要綱などを説明し、設置について諮ったところ、異議なく了承されました。
次に、議案2「規程類の一部改正について」は、新定款施行にともなう文言等の変更や、条文改正の必要に関する厚生労働省の指導があったことから、日身連の旅費規程と職員給与規程の一部改正を提案、異議なく了承されました。
議案3「平成30年度日身連要望事項の取りまとめについて」は、6ブロックならびに日本オーストミー協会・全日本難聴者中途失聴者団体連合会などからいただいた要望事項の取り扱いについて協議しました。要望件数は70件を超え、内容も重複するものや、すでに回答を受けているものなどが含まれることから、まず日身連組織体制強化及び障害者施策等に関する検討委員会において整理を行い、正副会長会で最終的な検討確認を行ったのち、関係府省庁へ提出す

ることが承認されました。なお、今後の要望のあり方として、内容をより重点化し、要望数なども絞り込んだものとするべきといった意見も出され、合わせて検討していくことになりました。(議題と報告事項は2面)



第2回定例理事会の様相

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)

発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
デアダックビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>

**Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)**

年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円